第８回水稲病害虫発生予察結果（伊豆市内）

JAふじ伊豆

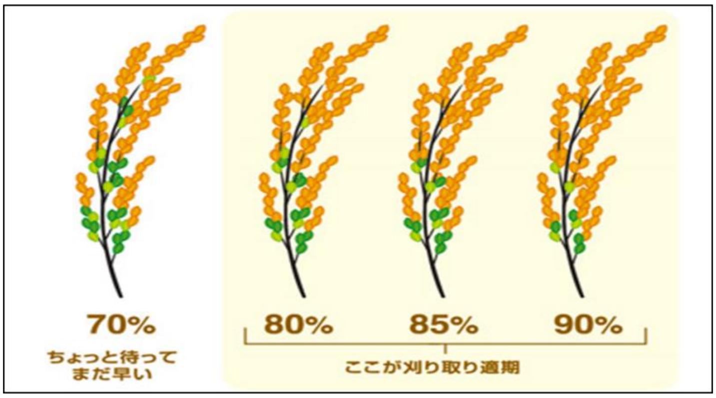
４月下旬～５月上旬田植えの早生品種（コシヒカリ・ひとめぼれ等）

【生育状況と栽培管理】

４月下旬から５月上旬に田植えを行った田んぼでは、籾の中に入っていた白い液体が固まり始める糊熟期となっております。
収穫作業のために早期に落水をする方が見受けられますが、籾は完熟しきれていないので早期に落水をしてしまうと、籾の厚みの形成に影響が出たり、登熟不良により品質の低下につながる可能性があるため、収穫７日前までは間断潅水の水管理を行うようにしてください。

【早生品種の出穂後の積算温度について】

コシヒカリの場合、出穂から数えた積算温度が 1,000℃に達した頃が刈取適期と言われています、前年の刈取日を目安にすると、気象条件により刈取適期が前後することがありますので、籾の黄化具合を見て刈取り時期の判断を行ってください。（籾の 80%～90%程度が黄変し、穂の元に緑色の籾が一部残っている頃）



各地区の早生品種の出穂が確認出来てからの積算温度は以下の通りとなります。

（7 月 30 日時点）

地区／温度・出穂	下白岩	原保	門野原	大平	北又
積算温度（℃）	430.8	435	449.4	422.1	432
15 日間の平均気温	28.72	29	29.96	28.14	28.8
出穂確認日	7 月 16 日（出穂より 15 日目）				

※積算温度と出穂確認日は JA が行っている、各地区の巡回圃場での計測値となります。

【病害虫の発生状況】

今回の調査では病害虫につきましては確認されませんでした。

5月中旬～下旬田植えの中晩生品種（きぬむすめ・あいちのかおり SBL 等）

【生育状況と栽培管理】

今回の調査で幼穂は約５ｃｍとなっており、約２週間で出穂すると予想されます。出穂するための幼穂の成長には水が必要となります、水が不足すると幼穂の生育に遅れや稔実が悪くなる可能性が高まります。幼穂の形成が確認できた方で中干しを行っている方は、間断灌水を行うようにしてください。

またカメムシの発生が確認されておりますので適期防除をお願い致します。防除タイミング等については「第５回水稲病害虫発生予察結果」をご確認ください。

【病害虫の発生状況】

晩生品種のあいちのかおりの圃場ではウンカ類、ツマグロヨコバイなどが確認されております。今後の動向に注意してください。

前回の予察結果・栽培管理は
こちらからご覧になれます！
次回予察予定　８月６日（火）

作成日：令和６年７月 30 日
ＪＡふじ伊豆修善寺営農経済センター
担当：竹村
電話：0558-72-4461